

入院患者さんの新型コロナウイルス陽性判明について（第1報）

奈良県立医科大学附属病院

1. 経過

令和2年11月21日(土)に入院されていた患者さん(70歳代、女性)が、11月23日(月)にレントゲン撮影により肺炎像を認めたことから、新型コロナウイルスの検査を行ったところ陽性が判明しました。

陽性が判明した患者さんは、コロナ対応病棟に転棟いただいております。症状は中等症です。

2. 病院の対応

中和保健所と連携を図り、現在以下の対応をとっています。

- ①陽性の患者さんと同室であった患者さんは、個室へ移動いただくとともに、PCR検査を実施します。
- ②保健所の指導のもと、患者さんと職員等の接触状況を調査し、濃厚接触者として11名を出勤停止とし、その他の接触者14名も含めた25名についてPCR検査を実施します。
- ③陽性の患者さんが入院していた病棟から他病棟への転棟や他病院への転院を中止するとともに、当該病棟への新規入院を停止します。

今後も関係する患者さん及び接触の可能性があった職員等の経過観察を継続して行いますとともに、感染拡大防止に向け、適切な対応に努めてまいります。

皆様にはご心配をおかけすることとなりますが、入院・外来の診療を続けてまいりますので、ご安心いただきますとともに、感染防止対策についてご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。

3. 本件問い合わせ先

奈良県立医科大学附属病院 病院経営部

電話 0744-22-3051（代表） 内線 5210、3211